

医療情報技師の立場から見た
地域医療連携が普及しない7つの理由

1. 業界と行政主導でシステム設計が行われたため、ユーザのメリットがはっきりしないこと
2. 特に病院側からは、開業医側の記録やデータを確認出来ず、メリットが薄いこと(双方向性の欠除)
3. 上記の事情からシステム導入や維持管理について誰が費用負担すべきかのコンセンサスがでないこと
4. 導入について行政の補助金が活用されたが、補助金が3年で打ち切られると、維持が出来ず消滅した事例が多数であること
5. 多くの補助金契機で導入された事例は、成功事例も含め、特定の個人の献身的な努力に依存している傾向があり、その個人が転勤などして離れた場合、継続困難となること
6. Windows 標準のVPNとデジタル証明書、ウイルス対策ソフトであり、開業医に脆弱性対策やウイルス対策ソフトの更新を求める事に対して、危惧せざるを得ないこと
7. 今後の地域包括ケアやPHRの流れに対して、どのように対応するかについてのコンセンサスがでないこと